



**戦闘尼僧の淫靡な冒険記**  
【外伝】

**淫魔王女・触獣の巢窟**  
《抄録》

**=AOI=**

聖十字教会の  
武装僧兵部隊が  
辺境のとある街付近で  
消息を絶った  
アマサンは  
教会法具部が開発した  
新型聖法衣の  
テストを兼ねて調査に  
向かった——  
武装僧兵部隊は  
街の女子供を攫って行く  
怪物を退治するべく棲家と  
思しき洞窟へ入り  
そのまま帰って来なかつた  
と言っ——  
部隊を追って洞窟に入った  
アマサンは触手の群れに捕まり  
体の自由を奪われた!



「また新しい玩具が来たようじゃな」  
幼い声と共に洞窟の奥から現れたのは  
体の至る所から触手を生やした異形の美少女  
体表は性器の粘膜の如き質感と色彩を纏い  
脳髓を痺れさせる様な淫らな香りを  
全身から発している――

それがこの洞窟の主…  
全世界の敵である淫魔王の娘  
淫魔王女ラヴァイアスだっつー  
「お主はどれくらいの間  
余を愉しませてくれるのじゃ？」



幼いとは言え流石は淫魔王の娘…  
ラウェイアスに流れる血は伊達ではなく  
強力な媚薬作用のある彼女の体臭は  
絶え間なく脳髓を蕩けませ  
極上の腔肉を思わせる粘膜質の掌と指で  
男聖器を弄び続ける  
第一級戦闘尼僧であるアマサンでさえ  
正気を保つのがやっとだった



「前に来た男共は余がこうして  
チンポに触れただけで  
射精が止まらず  
残らず悶死しおった…  
お主はそんなヤワな  
チンポでなくて嬉しいぞ  
これは存分に楽しめやうじゃ」  
ラウイアスがやう言った  
次の瞬間――





ラヴィアスの触手が男聖器の陰囊部を鞭打った  
男聖器は神聖力よって形成される戦闘器官であり  
敵の攻撃を受け止め無力化する働きがある  
しかし淫魔王女の桁違いの魔力が籠もった触手は  
人間如きの浅知恵を嘲笑うかの様に  
その小賢しい防御作用を易易と打ち破った  
経験した事の無い爆発的激痛に呼吸も出来ず悶絶する  
アマサン

「あははははははは  
何いお主のキンタマ  
余が思切叩いても  
破裂もせず持ち堪えて  
あるではないか」

「感触もい  
何時迄も叩き続けたくなる  
癖になりやうな弾力じゃ」

幼児特有の無邪気な残酷さで  
ラウイアスに男聖器の陰囊を  
鞭打ち続ける  
あまりの痛さに失神すら出来ず  
アマサンは地獄の苦しみの中で  
悶絶し続けた——

「キンタマ叩きも  
愉しいがそろそろ  
お主の淫穴を味わせて  
貰うでしょう」  
ラヴィアスの少女めいた  
股間の秘裂がパッキリ開き  
先端が龟头状をした  
女性の腕程の太さの  
長い触手が何本も  
這い出てきた  
それは獲物を狙う  
大蛇の群れを彷彿と  
させた



体中の穴を触手に蹂躪され  
想像を絶する苦痛と一  
光に匹敵する快感が  
アマサンの脳神経と魂を  
陵辱していく――



すいません、作業時間がいっぱいになって  
しまいました。  
コピー誌なのにオチまで行かないとは申し訳ない。  
そして描きかけラフでお茶を濁す体たらくっぶり…。orz



# 淫魔王女 ラヴィアス

…の覚書の  
様なもの

生後  
8ヶ月  
程の  
人間の  
11歳  
感じ

中は  
見えない  
が、脇の下  
には存在す  
る

マ○コ  
肛門は  
器官は  
こ○ち  
何本も

や  
らし  
きは  
あ  
る  
が  
か  
ら  
触  
手  
が  
出  
て  
来  
る

ケツと言  
うか  
下半身  
がデカ  
い

## ＝あとがき＝

まず予告の夏コミの続きを出せなくてすいませんでした。  
以下、言い訳、泣き言、愚痴です、申し訳ない。  
今年とうとう生まれて半世紀になってしまいました。  
その所為で体力・気力が著しく低下しております。  
実家の農作業を手伝った疲れが抜けず9月の半分ぐらいを  
棒に振ってしまいました。  
農作業の疲れも抜けたので  
これから2ヶ月冬コミに向けて今度こそは  
夏コミの続きを描こうと思っておりますが  
万が一の場合はご容赦下さい。  
…その前に冬コミ受かってるかどうかですが。  
ここ数年どっか必ず落ちるんですよえ。  
まあ先の事をあまりあれこれ心配しても仕方ないです。  
なるようにしかなりません。  
それでは冬コミに受かっていれば年末有明で  
またお会いいたしましょう。  
ダメだったらふたけつと11で。  
ごきげんよう～。

母上様の  
淫魔王ヴァギナウス様  
単性生殖ではなく  
人間の女性とのSEXで  
ラヴィアスを妊娠  
出産した





## ＝奥付＝

[発行日]

2014年10月05日(日)

[発行者]

AOI

[連絡先]

aoi0makita@gmail.com